

日立駅



展望イベントホール(日立駅内)

HITACHI CITY GUIDE BOOK

日立市ガイドブック

日立市 HP



発行 —— 日立市(市長公室広報戦略課)

茨城県日立市助川町 1-1-1

TEL —— 0294-22-3111

IP 電話 —— 050-5528-5038

令和5年9月 表紙イラスト © 2023 純頃

日立市公式SNS



HITACHI CITY GUIDE BOOK



日立市
ガイド
ブック

日立市の子育て支援、
ホントにすごいです!

—日立市独自の6つの無料—

18歳までずっと!
医療費が

無料



子育てはひとりで頑張らないで!
ヘルパー派遣料が

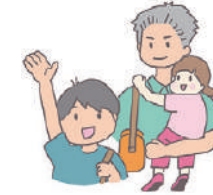
無料



※産前・産後に支援が必要な方で
近くに頼れる親族等がない方に限ります。

家計にやさしい!
第2子以降の保育料が

無料



※世帯収入により多子計算方法が異なります。

み〜んな同じスタートラインで!
ランドセル・スクールカバンが

無料



愛情たっぷりの学校給食が
小・中学生みんな

無料



※市が提供している全ての児童・生徒の
給食費が無料

ここも!あそこも!
楽しく遊んで学べる施設が

無料



※市内の小・中学生に配布している「ひたち大
好きパスポート」の利用で、14施設の入場料
・利用料が無料

Hi タッチらんど・ハレニコ!

日立駅前の大型商業施設「ヒタチエ」4階に
ある北関東最大級の広さを誇る全天候型
子どもの遊び場です。



子育ては、 日立市で

まだまだすごい! 子育て支援

- おさんの誕生を祝って **出産祝金贈呈**
- おむつやミルクなどの **8万円分のクーポン券贈呈**
※日立総合病院または高萩協同病院で出産した市民の方が対象となります。
- 予防接種のスケジュール管理を「**ひたち母子手帳アプリ**」が応援
- 日立市に住む、市内事業所に医療等の専門職で就業するなどにより奨学金返還を **最大全額補助**
- 子育て世帯のマイホーム取得助成 **最大3,115,000円**
※山側住宅団地内に中古住宅を購入し、リフォームをした場合

※日立市の子育て支援について詳しくは...



子育てに役立つ情報がいっぱい! 日立市子育て応援ハンドブック(デジタル版)

さまざまな子育て支援事業や特色ある教育など、日立市ならではの子育ての魅力を総合的にまとめた「ハッピー子育て〜日立市子育て応援ハンドブック(デジタル版)」を発行しました。ハンドブックはデジタル版なので、知りたい情報をご自宅のパソコンやタブレット、スマートフォンなどで、いつでもどこでも見ることができます。ぜひご利用ください。



ひたちすくすくガイド



茨城イーブックス





詳しくはこちら

※インテリアは実際と異なります。

主な移住・定住支援

暮らしやすく、質の高い住環境の整備を図るとともに、子育て世帯など若年世代の、市外からの移住や定住を支援しています。

- 市内でのマイホーム取得を助成
- 山側住宅団地への住み替えを促進
- 転入者などの住宅リフォーム費用を補助
- 宅地造成を行う事業者への補助
- 東京23区から又はテレワークを行う県外からの移住者への補助
- 空き家利活用のためのリフォーム費用を補助

移住相談窓口

移住コンシェルジュがサポートします。
日立市への移住を検討・希望されている方に対して、ご希望のスタイルをお伺いし「お住まい・お仕事・地域の情報」や「移住に関する助成」など、様々な疑問にお答えし、皆様の移住をサポートします。
お問合せは電話、メール、窓口等にて対応していますので、お気軽にご相談ください。
対応時間：8:30～17:15（平日のみ） 電話番号：0294-22-3111（内線583） メール：iju@city.hitachi.lg.jp



日立市移住ポータルサイト「ひたちぐらし」

各種移住支援制度や実際に日立市に移住した方の記事を掲載しています。日立市への移住に興味がある方は是非ご覧ください。



ヒタチエ
リニューアル
オープン!!

駅前大型商業施設 ヒタチエ

令和5年4月28日に日立駅前大型商業施設が「ヒタチエ」としてリニューアルオープンしました。
商業施設のコンセプトは“よりみち”
日立駅前に、世代を問わず、多くの方が思わず「よりみち」したくなり、時間を忘れて滞在できるような空間を創りたいという思いが表現されています。



日立駅前出張所「幸ステーション」

より身近に行政サービスを提供する拠点として、令和5年5月1日に「ヒタチエ」1階に開設しました。デジタルを活用した「書かない窓口」や「リモート窓口」のほか、マルチコピー機の設置により、各種の行政手続きをすることができます。お買物や仕事帰りの際などにご利用ください。



JR各駅周辺 Wi-Fi環境整備

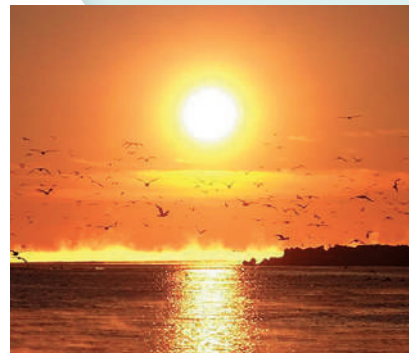
これまでの主な市内公共施設に加えて、新たに市内の各駅周辺でWi-Fiが使用できるようになります。(2023年11月予定)
インターネットを存分に利用でき、日常生活がデジタル技術で便利になるよう、地域に密着したデジタル化の推進を図っています。

Contents

- 1 トピックス
 - ①未来を拓く「子育て支援」
 - ②戦略的な「移住・定住促進事業」
 - ③都市力の向上「日立駅前の再活性化」
 - ④持続可能なまちづくり「デジタル化の推進」
- 6 市の紹介
- 7 日立の四季・春
- 9 日立の四季・夏
- 11 日立の四季・秋
- 13 日立の四季・冬
- 15 健やかに生き生きと暮らせるまち
- 17 未来を拓く人と多様な文化を育むまち
- 19 多様な活力があふれる産業のまち
- 21 都市環境が充実した魅力あるまち
- 23 自然と調和した安全・安心のまち
- 25 みんなで創る持続可能なまち
- 27 市内のロケ地
- 29 歴史をひもとく
- 31 日立市のオンリーワン!ナンバーワン!
- 32 ふるさと日立大使
- 33 これまでも、これからも
- 35 日立市レジャーマップ
- 36 アクセス一覧
- 37 数字で見る日立市

「日立」の名は、「水戸黄門」として親しまれる水戸藩第2代藩主徳川光圀公が日立地方を訪れ、海から昇る朝日の美しさに「日の立ち昇るところ領内」と称えたという故事に由来するといわれています。

日の立ち昇るところ。



日立市は、西は阿武隈山系に連なり、東は起伏に富んだ太平洋の海岸線を臨む、豊かな自然環境と穏やかな気候に恵まれた「四季折々の美しい自然を満喫できるまち」です。また、明治時代から、鉱業、電気機械産業を中心とする近代産業が発達し、日本有数の工業都市として成長してきた「ものづくりのまち」でもあり、自然と産業が調和した様々な魅力に満ちあふれています。



ようこそ！日立市へ

Outline 日立市ってどんなところ?

日立市はどこにあるの?

日本で最も広い関東平野の北端、茨城県の北東部にあり、南北26.3km、東西17.9km、面積225.73km²を有しています。※東京からJR常磐線特急で約1時間半、常磐自動車道で約2時間で到着できます。

どのくらいの人が住んでいるの?

人口167,501人(男性 83,513人、女性 83,988人)
世帯数 76,964世帯(令和5年4月1日現在)

水が美味しいって本当?

本当です!自然豊かな日立市の南部を流れる久慈川と北部を流れる十王川の水を浄水した水道水は、硬度が低く日本人が好む軟水で、透明感のある、さらりとした味わいが特徴です。ミネラルウォーターと水道水を飲み比べた、きき水アンケートの結果からも、水道水のピュアな美味しさが証明されています。



春は、まち全体が桜色に染まるって本当?

本当です!!市内にはソメイヨシノをはじめとするたくさんの桜が植えられています。なぜ、これほどたくさんの桜が植えられているのか…その答えは、これからの探訪の中で見つかりますよ!

花も人も、ほほえみ集う 春



平和通りでは、「日立風流物」の荘厳優美な姿と、美しい鳴り物、巧みなからくり人形芝居が、多くの観客を魅了します。

イベント 日立さくらまつり

4月上旬開催
日本の「さくら名所100選」の一つである「かみね公園・平和通り」の桜をはじめ、満開に咲き誇る桜の中で行われる「日立さくらまつり」は、日立市の春の風物詩。ユネスコ無形文化遺産の「日立風流物」の一般公開など数々のイベントが催され、多くの人でにぎわいます。



イベント 日立さくらロードレース

4月上旬開催
「日立さくらロードレース」では、親子連れから本格派までたくさんのランナーが、桜のアーチの下を駆け抜けます。また、普段、歩行者が立ち入れない「日立シーサイドロード」もコースの一部になっており、ランナーは海の上を走っているような絶景を眺めながらゴールを目指します。



施設 諏訪梅林

梅の見頃：3月下旬

天保4年(1833年)に、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公によって造園されたと伝えられている梅林です。約1haの公園内には約300本の梅が植えられ、梅の名勝地となっています。



施設 十王パノラマ公園

桜の見頃：3月中旬から5月上旬

十王ダムを見下ろす高台にあり、ランドマークとなる高さ20mのUFO型展望台からは阿武隈山系の山々や太平洋など360度のパノラマが広がります。園内にはソメイヨシノのほか、彼岸桜や彼岸枝垂れ、山桜など35種約400本の桜があり、3月中旬から5月上旬まで桜の花を楽しめます。



施設 かみね公園

桜の見頃：4月上旬から下旬

園内にはソメイヨシノなど約1,000本の桜が咲き誇ります。中には「御衣黄(ギョイコウ)」という緑黄色の花を咲かせる珍しい桜もあり、見る人の目を楽しませてくれます。また、園内の展望台からは、桜色に染まった市内を一望することができます。



イベント ひたち国際大道芸

5月第2週の土日に開催

世界中からたくさんのストリートアーティストが集まり、ジャグリングやアクロバット、パントマイム、マジックなどを繰り広げる、笑いあり!感動あり!驚きあり!の2日間です。



子どもも大人も、本気で楽しめる

夏



会瀬海岸を、上空からドローンで撮影。南国の海のような透き通った海の色に、水質の高さが表れています。

イベント 海水浴場

毎年7月～8月に開設



水質の良さと充実した設備が自慢です

長い海岸線に点在する6か所の海水浴場は、日立市の大きな魅力です。伊師浜・河原子・水木の3か所の海水浴場は環境省選定の「快水浴場百選」に選ばれており、伊師浜海水浴場は「日本の白砂青松百選」の一つでもあります。また、各海水浴場には無料のシャワーやトイレ、更衣室などが完備されています。（駐車場は有料）

- 伊師浜海水浴場 ●川尻海水浴場 ●会瀬海水浴場 ●河原子海水浴場
- 水木海水浴場 ●久慈浜海水浴場



施設 サーフィンの聖地

多くのサーフィンスポットが存在する日立市。特に河原子海岸はサーフィンの全国大会が開かれるなど、日本でも有数のサーフィンスポットとなっています。



イベント アートイベント



色とりどりの傘を使用した全国的にも珍しいアートイベント。頭上に浮かび風に揺れる傘のアーケードと地面をカラフルに彩るたくさんの傘の影が、暑い夏に涼しげな空間をつくれます。日没後は、ライトアップされた傘が、昼間とは違った幻想的な風景を演出します。どちらもインスタ映え間違いなしです。



イベント 花火大会

7月下旬～8月上旬開催

夏の風物詩として親しまれている花火大会。「日立港まつり」、「ひたち河原子花火大会」では、約2,000発の花火が打ち上げられ、大輪の花が夏の夜空と海面をダイナミックに彩ります。

五感が満たされる
秋



叙情豊かで気品高く、優雅な舞。全国・日立の伝統芸能をご覧ください。



イベント ひたち秋祭り～郷土芸能大祭

10月開催

全国から招く伝統芸能と、市内で伝統を育む中学生や保育園・認定こども園児、芸能団体が繰り広げる、熱くダイナミックな演舞などを堪能できます。特に、夜のステージは全国でも類を見ない規模を誇り、幻想的、情熱的な芸能の魅力が詰まった感動・充実の秋の風物詩です。



イベント 日立市産業祭

11月開催

新鮮な野菜や旬の魚介類、市内事業所の自慢の逸品や高い技術力による工業製品・最新エレクトロニクスの展示販売、国内親善都市（桐生市）、友好都市（山辺町）の特産品の展示販売など、日立市の魅力がぎゅっと詰まったお祭りです。



施設 小木津山自然公園

総面積61haの広大な自然の中に、スイレンの池、アカマツの自然林、ナラ・クヌギの雑木林があり、気軽に森林浴を楽しむことができます。また、公園内には、日本一古いカンブリア紀の地層（約5億年前）を見られるポイントもあり、太古からの地球の歴史を身近に感じることができます。



イベント 旬漁祭

10月の第4日曜日開催

道の駅日立おさかなセンターで開催される秋の味覚にまつわる一大イベント。県内の道の駅やグルメ屋台、キッチンカーが出店し、地域の特産品等を販売します。また、あんこうの吊し切りやマグロの解体ショーのほか、あんこう汁など旬の魚介を堪能することができます。



寒さを忘れるぐらい、わくわくする

冬



「日本夜景遺産」に認定されたかみね公園。展望台では大パノラマをご堪能いただけます。

施設 日立市の夜景

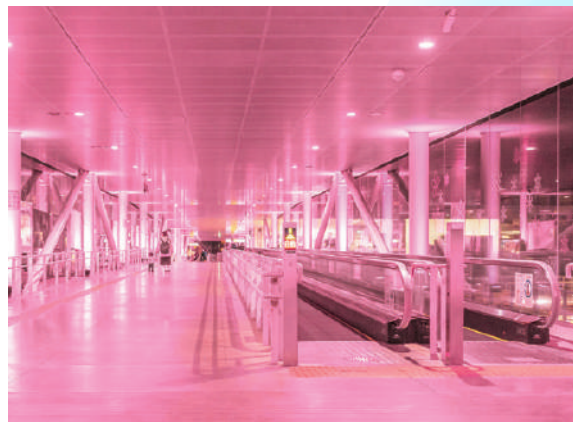
日本夜景遺産「自然夜景遺産」に認定されたかみね公園からの夜景をはじめ、澄み渡った冬の空気の中、様々な光が織りなす美しい夜景を楽しむことができます。



イベント ヒタチスターライトイルミネーション

11月下旬～1月中旬開催

日立市の冬の風物詩として、日立シビックセンター新都市広場や日立駅周辺で開催される「ヒタチスターライトイルミネーション」。色とりどりの光が幻想的に輝き、期間中には点灯式や野外コンサートなど、様々なイベントも行われます。



イベント 冬のさくらまつり

11月下旬～1月中旬開催

日立駅自由通路をさくら色にライトアップし、満開の“さくらのトンネル”を連想させる魅力的な空間を創り出します。



イベント 日立市消防出初式

1月第2日曜日開催

消防出初式には、消防職員、消防団員、各企業の自衛消防隊、女性防火クラブのメンバーなど関係者1,000人とともに、消防車両約70台が一堂に会し、勇壮に行進します。



健やかに生き生きと暮らせるまち

日立市子どもセンターでは、すべての子どもが健やかに育ち、安心して子育てができるよう、18歳未満の子どもたちとその家庭を切れ目なく総合的に支援します。

出産・子育て応援事業

妊娠届出や出産届出を行った妊産婦等を対象として、出産・育児等の見通しを立てるための保健師等による伴走型の相談支援と経済的支援を一体的に行い、妊婦や子育て家庭が安心して出産、子育てができるよう支援しています。

産後ケア事業

生後1年未満の赤ちゃんとお母さんを対象に、医療機関・助産院での宿泊や日帰り、助産師の訪問による心身のケアや授乳指導などを行っています。

産婦・乳児の健康診査等への助成

お母さんと赤ちゃんの健康を守るため、産婦健康診査(2回)、乳児健康診査(1か月、3~6か月、9~11か月)、新生児聴覚検査の費用を助成しています。



結婚新生活支援事業

経済的な不安を抱える若年層の方を対象に、結婚に伴う住宅取得費用や賃借費用、引っ越しに係る費用や家具・家電製品の購入費用を支援しています。(補助の上限は、夫婦ともに29歳以下の場合80万円、39歳以下の場合50万円)

マタニティ子育てタクシー費用助成

妊産婦や1歳未満のお子さんの保護者のかたを対象に、妊産婦健診、出産、乳児健診、子どもの予防接種などのために市内医療機関等に通院する際のタクシー料金を助成しています。



不妊治療費助成事業

令和4年4月1日以降に開始した生殖補助医療(体外受精・顕微授精、男性不妊治療)について、公的医療保険の適用の有無を問わず、自己負担した治療費について助成を行っています。(1回の治療に対し上限10万円)

ばんしゆんえん 萬春園完成

昭和50年に市内初の特別養護老人ホームとして開設した萬春園が、令和5年6月に新築移転しました。新施設は、すべての居室での通風・採光の確保、プライバシーに配慮した個室設えの多床室、多目的な活用を想定した地域交流スペースや誰もが気軽に利用できるリフレクシユエリアなど、様々な特徴を備えています。



充実したがん検診、健康診査

胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・肺がんなどの検診を実施しています。また、特定健康診査、後期高齢者の健康診査、39歳以下の健康診査を無料で受けられます。

ライフステージに応じた健康づくりの推進

誰もが、一生を通して健やかに生き生きと暮らせるように、各年代に合った健康づくり、栄養改善、歯科保健を推進し、生活習慣病の予防・重症化予防、介護予防の支援を行っています。



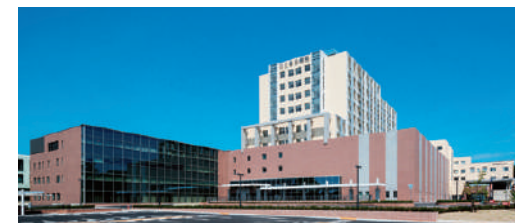
生きがづくりチャレンジ応援事業

高齢者の生きがづくりの機会の更なる拡大を図り、明るく活力ある長寿社会を実現するため、資格等の取得に要した費用の一部を補助し、チャレンジする高齢者を応援しています。(補助対象の1/2、上限1万円)



健康を支える医療が更に充実

県北地域で唯一の第三次救急医療を担うなど、地域医療の中核となる日立総合病院を中心に、救急医療や安心して出産、子育てができる医療体制の整備・拡充を図り、誰もがいつでも適切な医療を受けられるよう環境を整えています。



高齢者ICT活用支援

デジタル活用に不安のある方を対象とした個別の「高齢者ICT相談コーナー」を開催しています。また、初心者向けの「スマートフォン」や「タブレット」の教室も開催しています。高齢者がデジタル化の恩恵を享受し、豊かな生活を送れるようサポートします。

笑顔あふれる「元気café」

いつでもだれでも気軽に立ち寄れる「元気café(カフェ)」は、「すけがわ」「あゆかわ」「くじはま」の3か所と民設の「いこいのひろば元気カフェべんてん」があり、高齢者の交流の場としてにぎわっています。コーヒーを飲みながら、お一人でもお仲間とでも思い思いにゆったりと過ごせます。軽食や季節のイベントなども楽しめます。その他、民設ミニ元気カフェ(週1回程度)を開設しています。



高齢者おでかけ支援事業

外出の機会をつくり、いつまでも元気に生活できるよう、70歳以上の高齢者に対して、タクシー乗車費の助成と路線バス運賃カードの割引販売を行っています。

未来を拓く人と多様な文化を 育むまち



令和3年4月、日立シビックセンター科学館は、全面リニューアルを経て、愛称「サクリエ」に生まれ変わり、子どもから大人まで楽しみながら科学を学べる新しいスポットとなりました。



日立シビックセンター



郷土博物館



吉田正音楽記念館

日立市には、国内最大級の科学体験ジャングルジムがある「科学館」、世界最高峰のシステムを備えた「プラネタリウム」、見事な音響の「音楽ホール」、古文書から話題の新刊まで揃う「記念図書館」を擁する「日立シビックセンター」、郷土資料が保存・展示されている「郷土博物館」、国民栄誉賞を受賞した作曲家・吉田正氏の功績を称える「吉田正音楽記念館」など、時代もジャンルも超えた、様々な文化施設がたくさんあります。

文化少年団

子どもたちが関心のある文化活動を自由に選択し、その文化に触れ、体験する活動を展開しています。茶道、華道、お箏、民謡、能楽、日本舞踊、太鼓、合唱、囲碁、手あみなど23の少年団が活動しています。



職業探検少年団

子どもたちが、働くことに対する意識を育みながら、自ら考える力を身につけられるように、11の職業を探検（見る、聞く、体験する）できる全国でも珍しい少年団です。



理数教育の支援

日立市の小・中・義務教育学校では、日立製作所グループOBなどをメンバーとするNPO法人「日立理科クラブ」が、子どもたちの科学への夢を育む教育の一端を担っています。



ラジオ体操

誰もが知っている「ラジオ体操」の考案者は、日立市出身の遠山喜一郎さん。ラジオ体操は郷土の宝。夏休み最初の日曜日は「日立市一斉ラジオ体操の日」です。



放課後子ども教室

放課後の子どもたちが安全に、多様な体験・活動を行うことができるように、全小学校への放課後子ども教室の開設を進めています。



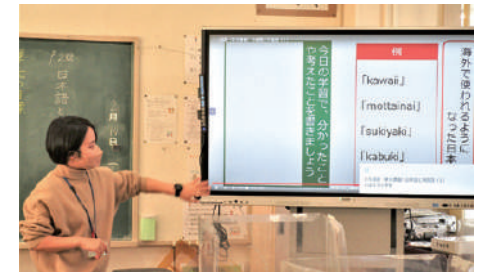
会瀬スポーツ広場OPEN!

「ラグビー競技を実施できるスポーツ施設の整備」のための交付金を活用し、全面に人工芝を敷いた会瀬スポーツ広場を整備。幅広い年代が安心して活動でき、ラグビー以外にも様々なスポーツで利用できるスポーツ広場です。



情報教育環境の整備

ICTの活用によって児童生徒が授業を理解しやすくなるよう、全普通教室への電子黒板配備や指導者用デジタル教科書の導入などを進めています。



移動図書館

約3,000冊の本を積んだ移動図書館車「たかすず号」が市内を巡回しています。日立市では身近な場所で本に親しむ環境が整っています。



電子書籍貸出サービス

インターネットで電子書籍の貸出しや返却ができる「電子書籍貸出サービス」を市内在住、在勤、在学の方に提供しています。日立市では忙しく来館が難しい方や子育て中の方などにも、読書環境を提供しています。

風流物を後世に（展示施設整備）

ユネスコ世界無形文化遺産に登録されている山車「日立風流物」を保存・活用・継承するため展示収蔵施設を整備します。





多様な活力があふれる産業のまち

LNGタンクの天井には市の花・さくらが描かれ、市の南の玄関口でみなさんをお出迎えます。



世界への玄関口

茨城港日立港区は、釧路港との定期航路により、北海道から送られる新鮮な生乳や農産品が首都圏の食卓に届けられているほか、完成自動車の取扱拠点としてメルセデス・ベンツの国内最大の輸入港、日産自動車の北米向け輸出港となるなど、北関東における重要な物流拠点となっています。

東京ガス日立LNG基地では、オーストラリアなどから輸入された液化天然ガス（LNG）から都市ガスを製造し、パイプラインなどを通じて、主に北関東の企業や家庭へと供給しています。また、2基目のLNGタンクや日立基地と神栖市を結ぶパイプラインが、令和3年3月に整備されるなど、首都圏へのエネルギー供給拠点としての役割が高まっています。



日立の原点を伝える「日立オリジンパーク」

世界中の社会課題解決に貢献してきた日立グループの挑戦の歴史と創業の精神を未来に伝える「日立オリジンパーク」。110年経った現在も稼働する純国産モーターなど貴重な実物を間近に見ることができます。また、茨城県最初のゴルフ場が併設され、プレーすることもできます。



次の100年に、たすきをつなぐ

全国から選抜された青年技能者（満23歳以下）が技能レベル日本一を競う「技能五輪全国大会」や世界一を競う「技能五輪国際大会」では、毎回、市内事業所から出場した選手が金賞を受賞するなどの大活躍をしています。日立市の発展を支えた先人たちの「ものづくり」の遺伝子は、確実に次の世代に引き継がれています。

高卒者等・外国人の人材確保

高齢化・少子化の進行により生産年齢人口が全国的に減少している中、市内の魅力的な中小企業と若者人材、外国人材を繋げるため、高校等新卒の就業者への祝金の支給、高校生向けの企業説明会やインターンシップ、外国人材を雇用する企業への支援など、さまざまな施策に取り組んでいます。



「創業の地」で

「JX金属」「日立製作所」などが生まれ育った「ものづくり」のまち日立市では、起業やビジネスチャンスの拡大をめざす個人やベンチャー企業等を支援するため、駅周辺の商店街の空き店舗、空きビルをリノベーションし、シェアオフィス「マイクロクリエイションオフィス」として、良好なオフィス環境をリーズナブルに提供しています。

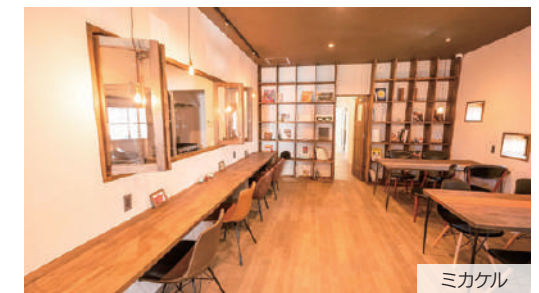


晴耕雨読、ミカケル

常陸多賀駅前の「晴耕雨読」や、大甕駅前の「ミカケル」では、オフィス利用としてのコワーキングスペース、個室に加えて、シェアキッチン・カフェを備えており、仕事や自分の時間など、さまざまな目的で気軽に利用できるシェア施設となっています。



晴耕雨読



ミカケル

都市環境が充実した魅力あるまち



市内を南北に走る国道6号と国道245号の渋滞緩和を目的に整備した国道6号日立バイパス(日立シーサイドロード)は、真っ青な海を見渡せる最高のロケーションです。



蛇口から安心をお届けます

日立市の水道は、下水道とともに、ほぼ100%に近い普及率を誇ります。老朽化が進む水道管の更新工事を計画的に進め、災害に強いライフラインの構築と、日常生活に欠かすことのできない安全・安心で美味しい水を提供しています。



久慈サンピア日立

久慈サンピア日立は、令和4年7月にリニューアルオープンし、館内の装いも新たに、宿泊を始め、会議や宴会、宴会、日帰り入浴など、より一層快適に利用いただける空間へと生まれ変わりました。新たな久慈サンピア日立で、楽しいひと時をお過ごしください。



市の玄関口・JR日立駅

「日立駅」の駅舎は、日立市出身の世界的建築家、妹島和世氏がデザインを監修しました。平成24年にはグッドデザイン賞を、平成26年には鉄道の国際デザインコンペティション「ブルネル賞駅舎部門」で優秀賞を受賞するなど、世界の最も美しい駅舎の一つとして高く評価され、NIKKEIプラス1(日本経済新聞)「モダンな駅舎」ランキングでも、東京駅に次いで2位に輝きました。



ひたちBRT (新しいバス交通で)

線路跡地を活用したバス専用道を通るひたちBRT (BUS RAPID TRANSIT [バス高速輸送システム]) は、道の駅日立おさかなセンターからJR常陸多賀駅(総延長8.7kmのうち、専用道6.1km)までを運行しています。交通渋滞の影響を受けない時刻表通りの運行で、快適に移動できます。現在、さらにJR日立駅までの延伸を計画しており、南北移動の基軸となる新しいバス交通の確立を目指します。



ひたちBRTイメージキャラクター
ピアルっち

路線バスのキャッシュレス化

市中心部を走る路線バスで、ICカードに加えQRコード決済やクレジットカードタッチ決済による運賃の支払いが可能になります。交通事業者のキャッシュレス化を支援し、市民の利便性向上を図っています。



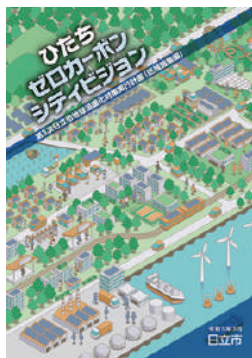
鮎川停車場線開通(幹線道路の整備)

平成14年度から県が整備を進めていた「都市計画道路鮎川停車場線」が令和5年5月に開通しました。JR横断部をアンダーパスして、国道6号と国道245号をつなぐ道路です。主要道路の交通を分散させ渋滞の解消を図ることで、地域交通の安全性及び利便性の向上が期待されます。



自然と調和した安全・安心のまち

平成31年3月に市役所本庁舎は、市民生活の安全・安心を支える防災拠点として生まれ変わりました。(設計はJR日立駅舎のデザイン監修を手がけた妹島和世氏)



「ゼロカーボンシティひたち」

令和4年3月に「ゼロカーボンシティひたち」を表明し、令和5年3月には、市民、事業者、大学、行政が一丸となって脱炭素化に取り組むため、「ひたちゼロカーボンシティビジョン」を策定しました。ゼロカーボンシティの実現を目指し、2050年までのCO₂排出量実質ゼロに挑戦していきます。



エコフェス

「エコフェスひたち」は県内最大級の環境イベント。環境の保全などに取り組む企業の製品や技術の紹介、市内で活動している環境団体の活動内容の紹介などのほか、クイズや実験を通して楽しく環境を学べるブースが並びます。



もったいない!みんなで減らそう食品ロス

市内の店舗ごとの「食べきり」や「持ち帰り」といった創意工夫による食用ロス削減に向けた取組を市が紹介する「ひたち食品ロス削減パートナー制度」を展開しています。また、10月の食品ロス削減月間には、食品ロスの削減を意識してもらうための街頭キャンペーンを実施しています。

いざという時のために

災害時の逃げ遅れによる人的被害をゼロにするため、緊急的に一時避難できる洪水避難施設として、神田町に「洪水避難タワー」を整備しました。また、WEB上で各種災害の危険箇所や避難場所等を確認できる「WEB版ハザードマップ」を市HPに公開しています。



医療面では、市と病院の連携のもと、24時間体制で、医師や看護師、医療資器材を乗せて救急現場へ向かう「ラピッドカー」を運用しています。



市内コンビニへAED設置

市内各コンビニエンスストアへAEDを設置し、救命の可能性を高めることで、安全・安心のまちづくりを推進します。



消防指令システム更新

消防指令システムは、消防本部の中枢として効率的な部隊運用を担い、24時間365日稼働し続けています。運用開始から10年が経過する現行システムを令和5年度中に更新することで、安定的な部隊運用を継続するとともに機能性を高め、消防力の強化を推進します。



天気相談所

「日立市天気相談所」は、日本で唯一、地方自治体が運営している気象機関です。予防業務許可を気象庁から取得し、日立市独自の天気予報を毎日発表しています。気象庁以外で最も長い歴史を持つ予報業務機関として、70年以上、観測を継続しており、気候の変化を知る貴重な資料となっています。また、災害が予想される際には、独自の予測や観測所の情報を基に、迅速に対応しています。



みんなで創る持続可能なまち

日立市は、全国に誇るコミュニティ活動の先進都市。地域の環境整備、防災訓練、子どもたちの登下校の見守り活動などを行っています。



景観を共につくる

日立市の南の玄関口である久慈川沿いに位置する菜の花畑。地域住民が協力して維持・管理を行っています。4月には美しい黄色の花々があたり一面を埋め尽くし、その光景は圧巻です！市内外から多くの方が訪れています。



桜を活かしたまちづくり

「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継ぐとともに、誇れるふるさとのシンボルとしての意識の醸成や魅力的な交流拠点の創出を図り、まちの活性化につなげる取り組みを進めています。

鞍掛山さくらの山づくり

煙害克服の象徴として、企業と市民が協働して桜を植えたことが、さくらのまち日立の始まりです。鞍掛山には、大正・昭和時代に日立鉱山が植林したオオシマザクラなどの桜の子孫約520本が、年月を経て生長しています。歴史を未来に引き継いでいくため、平成20年から、市民・学校・企業・行政がともに鞍掛山の整備活動を行っています。



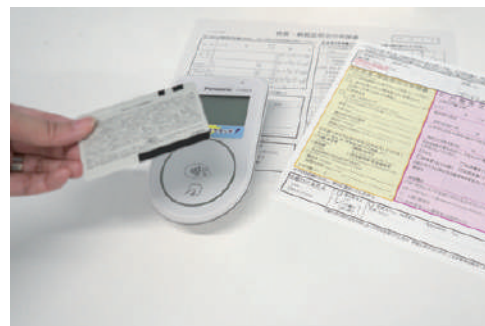
ごみ拾いは、スポーツだ！ (スポーツごみ拾い)

ごみ拾いをスポーツとして楽しむイベント「スポGOMI大会」の開催を始め、市民・企業・行政が一体となって、まちをきれいにする活動を行っています。



若者と共につくる (若者ががやき事業)

日立市を舞台にかがやきながら成長し、心豊かに暮らしていける環境を作りたい。そんな想いを抱く若者たちと、日立市が手を取り合って未来を創る多様な活動を展開しています。

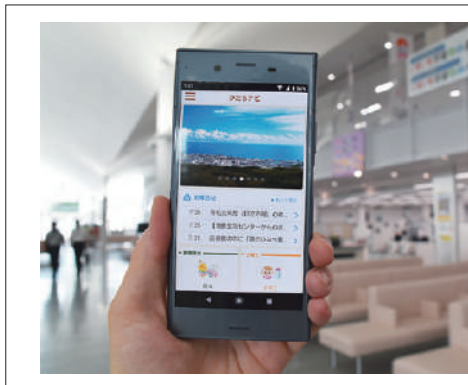


キャッシュレス化の推進

市役所の市民課や各支所及び駅前出張所（幸ステーション）などで、電子マネーでの支払いが可能です。かみね動物園や日立シビックセンターなどの市の施設でも電子マネーを利用することができます。訪れた方の利便性向上を図っています。

地域情報アプリ「ひたちナビ」

日立市公式のスマホ用アプリ「ひたちナビ」。ごみの日や防災情報など、市からのお知らせを自動で配信します。また、令和4年度から、「消防」の情報や危険箇所レポートに公園・河川が追加されたほか、不法投棄レポートの投稿ができるようになるなど、更に便利になりました。



日立市公式スマートフォン向けアプリ 「ひたちナビ」配信開始！

インストールは
こちらから「ひたちナビ」を
ダウンロード



iPhone



Android





GOOD LOCATION in HITACHI

市内のロケ地をご紹介します！

かみねレジャーランド



かみね公園にあるレジャー施設。高台にあり市街地から海岸線まで360度ゆったりと見渡せる「大観覧車」や自然の地形を活かしたスリル満点の「ジェットコースター」など、大人向けの大型機種から子ども向けの小型機種まで17種類のアトラクションを楽しむことができます。

- TV番組「芸能人が本気で考えた!ドッキリGP」
- ドラマ「仮面ライダーギーツ」
- 映画「ボクたちの反抗旗」
- TVCM「myblu」など

奥日立きららの里



東京ドーム10個分の自然あふれる園内には、日本一の長さを誇るすべり台「ワクワクスライダー（全長1,188m）」や、宿泊施設「ケビン」、「キャンプ場」、「バーベキュー場」などがあり、宿泊体験型のレクリエーションを楽しめます。空気の澄んだ晴天の日には、富士山を遠望できる隠れたビュースポットです。

- WEB動画「乃木坂配信中」
- 映画「ボクたちの反抗旗」など

平和通りの桜並木



平和通りは戦後の戦災都市復興計画により昭和26年に全線開通し、街路樹として地元の人たちの協力によってソメイヨシノが植樹されました。市と市民がともにまちづくりを行ってきたシンボルの桜たちは、毎年美しい花を咲かせ、満開の桜並木のもとに人々が集います。

- 映画「桜並木の満開の下に」など

日立武道館(旧共楽館)



大正6年に日立鉱山の福利厚生施設として建設された共楽館。昭和42年からは日立市の管理となり、日立武道館として剣道や柔道をはじめとしたスポーツや文化・芸能を楽しむ場として、多くの市民に親しまれています。加えて、平成11年には国登録有形文化財に登録、平成21年には日立市指定有形文化財に指定されており、大切な文化財として保存されています。

- ドラマ「太陽を愛したひと〜1964あの日のパラリンピック〜」

池の川さくらアリーナ



日立市池の川さくらアリーナは、2011年、東日本大震災で被害を受けた中央体育館を改築し、災害に強く安心安全な体育館を目指して作られました。スポーツ活動を支える体育館として様々なスポーツやレクリエーションなどが行われ、年代を問わず多くの方に利用されています。日立市民に愛される「さくら」を掲げ始動した池の川さくらアリーナには、多くの人々の新たな願いが詰め込まれています。

- WEB動画「ひたちスタイルで行こう!」

日立シビックセンター・新都市広場



日立駅を降りると目に飛び込んでくる巨大な球体ドームが浮かぶ日立シビックセンター。プラネタリウム(天球劇場)、科学館、音楽ホール、図書館等、知的文化活動に活用できる総合施設です。特にサイエンスショーや遊びながら学べる約100点の体験型展示があふれる科学館「サクリエ」、約1,500万個の星を再現可能な高性能プラネタリウムは、親子に人気のスポットです。

- ドラマ「仮面ライダーウィザード」
- 映画「仮面ライダーMOVIE大戦」
- ドラマ「仮面ライダー鎧武」
- 映画「仮面ライダー 令和 ザ・ファースト・ジェネレーション」など

日立駅



日立市出身の世界的建築家・妹島和世氏のデザイン監修のもとに設計されたガラス張りのJR日立駅。海側にまっすぐ伸びる自由通路の先には、太平洋が開け、輝く水平線とモダンな駅舎の調和した美しさをみるためにわざわざ訪れる観光客もいるほどです。

- CDジャケット 栗林みな実「LEAP」
- MV「片っぽの心」
- TVCM「ロッテ 乳酸菌ショコラ」

太田尻海岸



「東滑川ヒカリモ公園」の愛称で親しまれる東滑川海浜緑地に隣接する小さな海岸。自然豊かな場所でもあり、水のきれいな洞窟等に生息するヒカリモという珍しい藻類や、グミ島の岩場で羽を休めるウミウ(市の鳥)をみるすることができます。

- 映画「四月になれば彼女は」
- 映画「ある町の高い煙突」
- 映画「武蔵一むさしー」

暇修館



150年以上前に水戸藩の郷校(庶民教育のために藩が建てた学校)の1つとして建てられました。当初は「興芸館」といい、医者 の 研 修 施 設 で し た が、弘 化 元 年(1844年)に暇修館(かしゅうかん)と改め、学びたい者に広く門戸を開きました。「暇修」の名のとおり、庶民が余暇を利用して学ぶことができました。

- TV番組「世界ふしぎ発見!」



かみね動物園(猛獣舎等)

お客様と動物の距離がとても近い、アットホームな動物園です！

かみね動物園の開園は昭和32年。長い年月、市民はもちろん県内外の方々に愛され続ける動物園です。魅力的な動物園であり続けるために、全国初のウミウと爬虫類の複合施設「はちゅうるい館」や猛獣舎「がおーこく」のオープンなどハード面の整備に加え、動物をより身近に感じてもらうためのイベントを増やすなど、ソフト面も充実させています。毎年チンパンジーの森では、市民に苗木や樹木を持ち寄っていただき植樹祭を行い、一緒に森づくりをしています。園内では、約100種540点の個性豊かな動物たちが暮らす姿をご覧になれます。様々な展示動物の観察や小動物たちとのふれあいを通して、お気に入りの動物を見つけてくださいね。

ここで撮影されました!



- ドラマ「君の花になる」
- 映画「魔女の宅急便(実写版)」
- 映画「旭山動物園物語 ペンギンが空を飛ぶ」
- ドラマ「奇跡の動物園〜旭山動物園物語〜」
- 映画「隣人13号」
- ドラマ「特命戦隊ゴバスターズ」など



ほかにも、駅や海岸、公園、企業の敷地など様々な場所がロケ地になっています。映画やドラマの中の日立市を、皆さんも見つけてみてくださいね!

- 【映画】「手紙」、「パンボン」、「桜田門外の変」、「百万円と苦虫女」、「ディアドクター」、「友罪」、「キャラクター」
- 【大河ドラマ】「武蔵MUSASHI」
- 【ドラマ】「モンタージュ 三億円事件奇譚」など

歴史をひもとく

古代から近世

約5億年前に形成されたカンブリア紀層を礎に築かれた日立の大地に、人々の営みが見え始めるのは約3万年前の旧石器時代からです。寒冷な気候から温暖な縄文時代が変わって多くの集落が営まれ、南高野貝塚(南高野町)をみれば当時の豊かな食生活がわかります。その後、稲作を知った弥生時代の人々は、その終わり頃に優美な文様と姿形が特徴の「十王台式土器」をつくります。続く古墳時代、地域の有力者は山のような古墳や横穴墓を造り、現在でも西の妻古墳(石名坂町)やかんぶり穴横穴墓群(川尻町)などが残ります。

古墳時代に続く奈良時代は、『常陸国風土記』がその世界へ誘います。宝石のような碁石が採れる浜(伊師浜周辺)、若者男女が集い飲食に興じた密筑の里の大井(水木町)。泉が森の湧き水)など、市内には風土記ゆかりの地が数多く残っています。平安時代後期から戦国時代には佐竹氏に領有され、山尾城(十王町)や大窪城(大久保町)など多くの城館のほか社寺が建立されました。また、近代の鉱山開発につながる金の採掘もこの頃に始まったとされます。

その後、江戸幕府が開かれ領有は水戸藩へ移ります。当地方を縦断する岩城相馬道とそれに沿う宿が整備され、その景色は現在の街並みに垣間見えます。幕末には海防のための陣屋が沿岸各所に設けられ、そのひとつである助川海防城(助川町)は太平洋を見渡す高台に築かれました。県史跡に指定され、史跡公園として往時を偲ばせます。

近代

明治22年(1889年)に宮田村と滑川村が合併し、日立村が誕生しました。

日立村字宮田には、江戸時代から赤沢銅山と呼ばれる鉱山があり、幕末にはかなりの産銅がありました。鉱毒水が災いして長くは続きませんでした。明治38年(1905年)、この銅山を買い受けた久原房之助は新しい技術による近代化に努め、短期間で日立鉱山を日本の四大銅山の一つに数えられるまでに発展させました。

この過程で表面化した煙害は、周辺地域に大きな被害をもたらしましたが、大正3年(1914年)に当時世界一の大煙突を築造し、また気象状況に合わせて断続的に操業する制限溶鉱を行って乗り切りました。

そして、現代へ

明治43年(1910年)に小平浪平が日立製作所を創業し、大正から昭和にかけて大きな発展を遂げ、昭和14年(1939年)に日立町と助川町が合併して「日立市」が誕生しました。

太平洋戦争末期には工場を中心に戦災に見舞われたものの、戦後の高度経済成長の過程で復興・発展を遂げました。昭和30年代に周辺の町村を合併し、昭和58年(1983年)には市の人口が20万6千を突破しました。また平成16年(2004年)に多賀郡十王町と合併し、現在の日立市を形成しています。

その後、産業構造の転換などによって人口減少に転じていますが、現在に至って「ものづくりのまち」として先端工業が育まれています。



大煙突の歴史

「大煙突」は、日本4大銅山の1つと謳われた日立鉱山がその発展に伴う煙害を克服するため、1914年(大正3年)3月に工事着工、同年12月に完成し、1915年(大正4年)3月1日から使用が開始された、高さ155.75mにもなる煙突です。

日立鉱山の創業者久原房之助は、大煙突建設に反対の意見が多い中、「この大煙突は日本の鉱業発展のための一試験台として建設するのだ」と説き、建設の決断をしました。

この煙突の建設は、当時の日本国内では、まだ技術が確立されていなかった「鉄筋コンクリート造」を導入し、工事で使用した足場丸太は30,000本、作業に従事した人の数は36,840人と、まさに「大工事」でした。また、完成当時は「世界一の高さ」であったにも関わらず、着工から使用開始までわずか1年という驚異的なスピードで建設されました。この煙突によって煙を拡散することが可能となり、日立鉱山の経営の重荷となっていた煙害問題の軽減に役立ちました。

しかし、1993年(平成5年)2月19日、約3分の1を残して倒壊してしまいました。倒壊後に改修が行われ、高さは54mとなりましたが、現在も煙突としての使用が続けられています。

また大煙突の建設は、住民と企業の共存共栄への足跡を描いた、昭和の文豪新田次郎氏の小説「ある町の高い煙突」に取り上げられ、その存在が広く知られるようになりました。この小説は、2019年(令和元年)6月に映画化されて、全国で上映され、鉱工業都市として発展してきた日立市の歴史と誇りを伝えています。



■歴史を未来に引き継ぐ



助川城跡公園

水戸藩藩主徳川斉昭公が、天保7年(1836年)異国船の侵入に備え城郭を築いた助川海防城跡を公園としたものです。幕末、内乱により焼失しましたが、本丸跡等に往時を偲ばせるものがあり茨城県史跡に指定されました。



国史跡

「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」

十王町伊師の長者山遺跡では、1,300年前の奈良時代に、全国に敷設された公的な道の跡や、その道に沿って設けられた人馬の休憩所である駅家と考えられる建物跡などがみつかかり、平成30年(2018年)に日立市初の国史跡に指定されました。また当遺跡は『常陸国風土記』に記された「藻島駅家」の有力な候補地でもあります。



日鉱記念館

日鉱記念館は、日立鉱山の歴史を展示したJX金属グループの産業資料館です。日立鉱山は、明治38年(1905年)に久原房之助が開業し、昭和56年(1981年)の閉山までの76年間、日本の近代化と経済成長に貢献してきました。展示内容には、その成長から閉山までの軌跡とともに、環境問題の金字塔といわれる高さ155.7mの大煙突や、理想郷を目指したといわれる鉱夫の生活の資料が詰まっています。

日立市の オンリーワン! ナンバーワン!

工業都市でありながら農林水産業も盛んで、山に囲まれながらも長い海岸線を持つなど、様々な表情を併せ持つ日立市。市内には、バラエティに富んだたくさんの「オンリーワン!ナンバーワン!」があります。



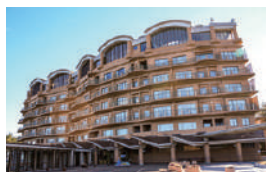
日立LNG基地
LNGタンクの大きさは、直径約90m、高さ約60mで、地上式タンクとしては世界最大級です。



茂宮かぼちゃ
地域ブランド認定品として知られる日立が誇る特産品です。この貴重な作物を次世代に継承していくため、市は令和4年度に「茂宮かぼちゃ塾」を開講し、担い手の育成と生産量の拡大を図っています。



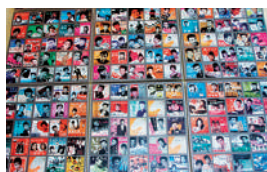
**奥日立きららの里
ワクワクスライダー**
滑り台「ワクワクスライダー」の全長は1,188mで日本一。最高時速30キロのスピードで滑り降ります。



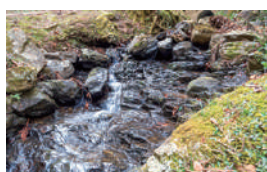
国民宿舎鶴の岬
宿泊利用率が全国1位の国民宿舎です。しかも34年連続1位を更新中。太平洋を望むロケーションと丁寧な接客が人気の理由です。



日立風流物
国指定重要有形・無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産。高さ15mに及ぶ山車を舞台に、からくり人形による芝居が繰り広げられます。



駅の発車メロディー
市内の常磐線各駅の車両発車メロディーは、「いつでも夢を」、「寒い朝」など吉田正氏の作品です。



日本最古の地層
日本最古の地層で5億年以上前のカンブリア紀の岩が小木津山自然公園等で見られます。



6つの海水浴場
海水浴場が市内に6つあるのは、県内唯一。松林や白い灯台など、海水浴場ごとに異なるロケーションも魅力の一つです。



ウミウ捕獲技術
日本唯一のウミウ捕獲技術を引き継ぐウミウ捕獲技術保持者。1,300年の鵜飼の歴史を支えています。



茨城港日立港区
完成自動車の輸出入拠点となっており、特にメルセデス・ベンツ車の輸入台数は日本一です。



ランドセル
昭和50年から、小学校に入学する新1年生に軽くて丈夫なランドセルを贈呈しています。すべての子どもたちが同じスタートラインに立てるように願いを込めています。



ポパーワイン
美しい黄金色のワインは、女性やお酒の弱い方にも飲みやすい甘口です。ポパーを原材料としたワインは、全国でも例がないオンリーワンの商品です。



日立市天気相談所
日立鉱山が煙害対策のため行っていた気象観測を市が引き継ぎました。地方自治体の行政組織として直営では全国で唯一、気象の観測・天気予報を行っています。



日立紅寒桜
市民公募により命名され、平成18年に農林水産省により新品種(品種名「日立紅寒」)として登録されました。例年1月中旬から開花し、3月上旬に見頃を迎える日立市固有の桜です。



パンポン
パンポンは、テニスと卓球の間のようなスポーツで、創業後間もない日立製作所で生まれました。名前の由来は、「パンと打って、ポンと弾む」ことから。市内の様々なところで気軽に楽しめます。



〈番外編〉大障害
日立市発祥の遊具といわれています。市内小学校の6割に設置されており、これほど普及しているのは、恐らく日立市だけ。日立市出身の子もたちが最も記憶に残っている遊具に挙げ、日立市ならではの遊具です。

ふるさと 日立大使

市制施行80周年を記念して、日立市の魅力である「ひたちらしさ」を広く国内外に紹介し、本市のイメージアップと認知度の向上を図るため、本市出身者またはゆかりのある方に「ふるさと日立大使」に就任していただきました。(令和5年9月現在11名、順不同・敬称略)



橋 幸夫
文化人/吉田正音楽記念館名誉館長



妹島 和世
建築家



會澤 翼
プロ野球選手(広島東洋カープ 捕手)



上妻 宏光
三味線奏者



神保 佳永
JINBO MINAMI AOYAMA
オーナーシェフ



岡部 磨知
バイオリニスト



KATSUMI
シンガーソングライター/音楽プロデューサー
ラジオパーソナリティ



井手 麻渡
俳優(映画「ある町の高い煙突」主演)



関 あつし
漫才師(母心)



ミウラ ナオコ
イラストレーター(茨城国体マスコット
キャラクター「いばらッキー」作者)



岡部 麟
アイドル(AKB48)



これまで、これからも

～Towards the future～

明治

西暦(元号)

1889(明治22) 宮田村と滑川村が合併し、多賀郡日立村が誕生する。

1898(明治30) 常磐線助川駅が開駅する。

1905(明治38) 久原房之助が赤沢銅山を日立鉱山として創業する。

1910(明治43) 小平浪平が日立製作所を設立する。

大正

1914(大正 3) 大煙突が築造される。

1924(大正13) 多賀郡日立村が多賀郡日立町になる。

1939(昭和14) 日立町と助川町が合併し、日立市となる。

昭和

1940(昭和15) 市の紋章を制定する。

1945(昭和20) 終戦直前の爆撃等により、市内の約7割が灰になる。

1948(昭和23) かみね公園の整備に着手する。

1949(昭和24) 日立市民の歌を制定する。

1951(昭和26) 平和通りが開通し、街路樹として桜を植樹する。

1952(昭和27) 日立市天気相談所が誕生する。

1955(昭和30) 日立市に多賀町、日高村、久慈町、中里村、坂本村、東小沢村が編入合併し、新日立市が誕生する。

1956(昭和31) 豊浦町が編入合併する。

1957(昭和32) かみね動物園が開園する。

1962(昭和37) 交通安全都市宣言をする。

1965(昭和40) 群馬県桐生市と国内親善都市を提携する。

1977(昭和52) 市の花「サクラ」、市の木「ケヤキ」を制定する。

1981(昭和56) 日立鉱山が閉山する。

1982(昭和57) アメリカ合衆国アラバマ州バーミングハム市と国際親善姉妹都市を提携する。

1985(昭和60) 常磐自動車道が日立北インターチェンジまで開通する。
核兵器廃絶、平和都市宣言をする。

平成

1988(昭和63) ニューージーランド・タウランガ市と国際親善姉妹都市を提携する。

1989(平成 元) 市制施行50周年、市の鳥「ウミウ」を制定する。

1990(平成 2) 「日立シビックセンター」、「日立新都市広場」がオープンする。

1993(平成 5) 大煙突が3分の1を残して倒壊する。
日立中央インターチェンジが開通する。

1994(平成 6) 「奥日立きららの里」がオープンする。

1995(平成 7) 終戦50周年記念事業として、平和の鐘を日立駅前広場に設置する。

1999(平成11) 市制施行60周年、「日立地区産業支援センター」がオープンする。

2001(平成13) 第1回日立さくらロードレースを開催する。

2003(平成15) 市のさかな「さくらダコ」を制定する。
72年に一度の大祭礼「金砂大田楽」が公開される。

2004(平成16) 「吉田正音楽記念館」がオープンする。
山形県山辺町と国内友好都市を提携する。
十王町との合併により、新日立市が誕生する。

軍需鉱工業都市と目された日立市は、終戦直前、アメリカ軍から4度の爆撃を受けました。
■6月10日
B29による爆撃
1トン爆弾806発投下
■7月17日
アメリカ艦隊による艦砲射撃
16インチ砲弾870発砲撃
■7月19日
B29による焼夷弾爆撃
焼夷弾13,900発960トン余投下
■7月26日
B29による模擬原爆投下訓練
約4.5トンの大型爆弾1発投下

「西の西陣、東の桐生」と称され、古くから織物のまちとして発展してきた桐生市。桐生市の子どもたちが毎年夏の臨海子ども会で日立市を訪れていたことがきっかけとなり国内親善都市となりました。

鉄鋼業のつながりで姉妹都市になったバーミングハム市。同市から贈られた、まちのシンボルである「バルカン像」(ローマ神話に登場する火と鍛冶(かじ)の神)が、かみね公園展望台の傍にあります。展望台から眺める水平線に、地球の丸さを実感!

市民みこし訪問団や青少年の交流を通して姉妹都市になったタウランガ市。「タウランガ」とは、この地域の先住民族であるマオリ族の言葉で、「囲まれた水」「カヌーの锚(いかり)を降るす場所」という意味で、ニューージーランド最大規模の商業港を有します。

江戸時代後期、「助川海防城」が築城された際、初代城主に山辺町出身で水戸藩家老の山野邊義観(やまのべよしみ)公が任命された歴史的な結び付きを縁として、国内友好都市となった山辺町。古くから繊維産業が盛んなほか、さくらんぼなどの果物も絶品です。

平成

2005(平成17)

環境都市宣言をする。

2007(平成19)

日立市イメージマーク、キャッチコピー、イメージカラーを制定する。

2008(平成20)

国道6号日立バイパス「日立シーサイドロード」が開通する。

2009(平成21)

市制施行70周年、「日立風流物」がユネスコ無形文化遺産になる。

2011(平成23)

東北地方太平洋沖地震が発生(東日本大震災)、海岸部を中心として市全域で大きな被害を受ける。
日立駅自由通路・橋上駅舎が完成する。

日立駅の海側にあるカフェは、全面ガラス張りで、目の前は太平洋の大海原が広がります。まるで海に浮いているようなデザインの絶景天空カフェと人気です。

2012(平成24)

日立駅情報プラザ「ぷらっとひたち」がオープンする。
かみね動物園がエンリッチメント大賞を受賞する。

2013(平成25)

新交通(ひたちBRT)が運行を開始する。

2014(平成26)

道の駅「日立おさかなセンター」がオープンする。
JR日立駅がブルネル賞を受賞する。

2016(平成28)

かみね動物園の入園者数が2,000万人を超える。

2017(平成29)

新体育館「日立市池の川さくらアリーナ」がオープンする。
吉田正音楽記念館の入館者が100万人を超える。
日立市役所新庁舎での業務を開始する。

2019(平成31)
(令和 元)

いきいき茨城ゆめ国体2019(第74回国民体育大会)が開催。日立市内の会場では体操(競技、新体操)、バスケットボール、卓球、軟式野球を開催する。
※いきいき茨城ゆめ大会2019(第19回全国障害者スポーツ大会)は、台風の影響により中止。

令和

日立市役所新庁舎がグランドオープンする。
市制施行80周年、ふるさと日立大使を任命する。
東滑川ヒカリモ公園がリニューアルオープンする。

Hiタッチらんど・ハレニコ!がオープンする。

SEA MARK SQUAREがオープンする。

映画「ある町の高い煙突」全国公開。
日立市公式地域情報アプリ「ひたちナビ」の公開を開始する。

2020(令和 2)

南部消防署新庁舎が開庁する。

2021(令和 3)

日立シビックセンター科学館「サクリエ」がリニューアルオープンする。
日立市報の全戸配布を開始する。
日立オリジンパークがオープンする。

2022(令和 4)

久慈サンピア日立がリニューアルオープンする。
かみね動物園に猛獣舎「がおーこく」がオープンする。

2023(令和 5)

日立駅前大型商業施設「ヒタチエ」がオープンする。
日立市役所日立駅前出張所「幸ステーション」がオープンする。
特別養護老人ホーム「萬春園」が新築移転する。



日立市探訪の旅を、お楽しみいただけましたか?

豊かな自然や高いレベルの産業の集積、充実した若者・子育て世帯・高齢者への支援など、ご紹介しきれなかった魅力がまだまだたくさんあります。このガイドブックを通して日立市の素晴らしさに触れていただき、日立市で過ごす時間を楽しんでいただけたら幸いです。

これからも、皆様に愛される魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

令和5年9月 日立市長 小川 春樹

Hitachi City Leisure MAP

日立市レジャーマップ



交通アクセス

- 鉄道 (JR常磐線)
 - 〈特急〉上野駅 90分 日立駅 45分 いわき駅
 - 〈普通〉水戸駅 35分 日立駅 60分 いわき駅
- 高速道路 (常磐自動車道)
 - 三郷IC 80分 日立中央IC 35分 いわき中央IC
 - 水戸IC 30分 日立中央IC 90分 郡山IC

アクセス一覧

施設名等	住所	問合せ先	電話番号
1 たかはら自然塾	十王町高原396-1	たかはら自然塾	0294-39-5391
2 十王図書館	十王町友部202-1	十王図書館	0294-20-2345
3 十王パノラマ公園	十王町友部1085-6	市都市整備課	0294-22-3111
4 十王物産センター 鶴喜鶴喜	十王町伊師528-1	十王物産センター 鶴喜鶴喜	0294-39-3126
5 国民宿舎 鶴の岬	十王町伊師640	国民宿舎 鶴の岬	0294-39-2202
6 ウミウの捕獲場	国民宿舎 鶴の岬 (十王町伊師640)	市観光物産課	0294-22-3111
7 奥日立きららの里	入四間町863-1	奥日立きららの里	0294-24-2424
8 日鉱記念館	宮田町3585	日鉱記念館	0294-21-8411
9 大煙突	宮田町	JX金属(株)日立事業所	0294-23-7130
10 東滑川ヒカリモ公園	東滑川町5丁目	市都市整備課	0294-22-3111
11 SEA MARK SQUARE (商業施設)	東滑川町5丁目	SEA MARK SQUARE	0294-32-5157
12 吉田正音楽記念館	宮田町5-2-25	吉田正音楽記念館	0294-21-1125
13 かみねレジャーランド	宮田町5-2-22	かみねレジャーランド	0294-22-4737
13 かみね公園	宮田町5丁目	かみね公園管理事務所	0294-22-5586
13 かみね動物園	宮田町5-2-22	かみね公園管理事務所	0294-22-5586
14 郷土博物館	宮田町5-2-22	郷土博物館	0294-23-3231
15 日立武道館 (旧共楽館)	白銀町2-21-15	日立武道館 (旧共楽館)	0294-22-0361
16 ヒタチエ (商業施設)	幸町1-16-1	ヒタチエ管理会社 (代表)	050-1807-3772
16 Hiタッチらんど・ハレニコ!	幸町1-16-1 (ヒタチエ4F)	Hiタッチらんど・ハレニコ!	0294-87-6040
17 日立シビックセンター	幸町1-21-1	日立シビックセンター	0294-24-7711
17 記念図書館	幸町1-21-1	記念図書館	0294-24-7714
18 池の川さくらアリーナ	東成沢町2-15-1	池の川さくらアリーナ	0294-35-0767
19 子どもセンター	西成沢町2-4-20	子どもセンター	0294-36-0048
20 多賀図書館	未広町1-1-4	多賀図書館	0294-33-2655
21 暇修館	大久保町4-15-1	市教育委員会生涯学習課	0294-22-3111
22 日立オリジンパーク	大みか町6-19-22	日立オリジンパーク	0294-87-7575
23 南部図書館	久慈町3-24-1	南部図書館	0294-29-1125
24 久慈サンピア日立	みなと町6-1	久慈サンピア日立	0294-53-8000
25 道の駅日立おさかなセンター	みなと町5779-24	道の駅日立おさかなセンター	0294-54-0833

数字で見る日立市

数字で見ると見えてくる、日立市はこんなまちです。参考「日立市の統計(2023年版)」

■日立市の位置・面積

極東 東経140°43'
極西 東経140°31'
東西 17.9km
極南 北緯 36°29'
極北 北緯 36°43'
南北 26.3km
面積 225.73km²

■人口(令和5年4月1日現在)

167,501人

■世帯数(令和5年4月1日現在)

76,964世帯

■出生

1日 2.2人

■婚姻

1日 1.4組

■市の予算

市民1人当たり 432,355円

■自警団体数・団員数

団体数 85団体
団員数 3,191人

■交流センター数

23施設

■幼児施設数

◆幼稚園
市立 3園、私立 8園
◆保育園
市立 9園、私立 9園
◆認定こども園
市立 2園、私立 12園
◆家庭的保育事業所
私立2事業所

■小学校数

市立 24校、私立 1校

■中学校数

市立 14校、私立 1校、県立 1校

■高等学校数

県立 6校、私立 4校

■大学数

国立 1校、私立 1校

■特別支援学校

市立 1校

■義務教育学校

市立 1校

■桜の本数

平和通り 約120本
かみね公園 約1,000本
鞍掛山 約520本
十王パノラマ公園 約400本

■産業別人口(割合)

(令和2年10月1日現在)
第1次 863人(1.2%)
第2次 25,222人(33.9%)
第3次 47,021人(63.1%)

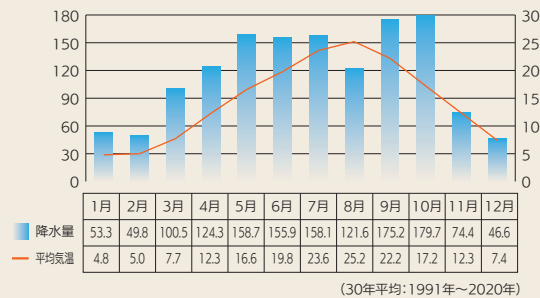
■上下水道人口普及率

水道 99.6%(令和5年3月31日時点)
下水道 98.2%(令和5年3月31日時点)

■図書館数

市立4館
蔵書数 798,168冊
貸出数 1,120,651冊
登録者数 102,570人

■気候



■JR常磐線乗客数

日立駅 8,306件
常陸多賀駅 5,454件
大甕駅 7,856件
小木津駅 1,928件
十王駅 2,537件

■火災

37件(1日 0.1件)

■救急出動

9,789件(1日26.8件)

■消防分団数・団員数

分団数 27分団
団員数 377人

■乗用自動車

1世帯当たり 1.5台(軽四輪含む)

■交通事故

1日 0.9件

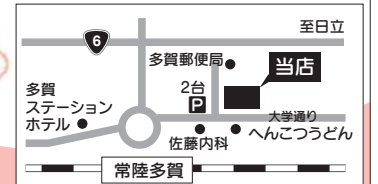
24時間365日貴方の生活(耳)を守ります

まずは体験してみましょう!2週間無料で補聴器体験出来ます。

おがわ補聴器専門店

日立市多賀1-11-28 K-2ビル102 TEL&FAX:0294-87-7275

お気軽にお問い合わせください。ご自宅・施設・病院への訪問や測定無料です。



全面ガラス張りの店内は明るく開放感があり、リゾート感覚が味わえる「シーバースカフェ」、海に浮いているような、非日常絶景カフェ

茨城県日立市旭町1-3-20
0294-26-0187
<http://seabirdscafe.com>

一般社団法人 茨城日立 相続相談センター

弁護士・税理士に直接相談できる無料相談会も開催しております。詳しくはホームページをご覧ください。

☑ 相続相談・相続診断・相続対策 を行います。
☑ 相続した空き家の相談 も受けております。

相談無料 0294-33-6754 営業時間9時~18時 水曜定休
〒316-0023 茨城県日立市東大沼町 3-28-3 日立市 相続

日立市専門 不動産売買物件情報WEB

フリーピース不動産

株式会社 FREE PEACE 日立市東大沼町 3-28-3 ☎0294-33-8181

スマホでかんたんお家探し♪ 物件情報毎日更新!

Organic Vegetables KASHIMURA FARM 櫻村ふぁ〜む

『食べた人が笑顔になれる野菜やお米をお届けしたい』

日立市十王町伊藤5220 ☎ 0294-39-5038

『野菜とお米の美味しいお店』 櫻村ふぁ〜む PRESENTS Nico Kitchen ニコキッチン

日立市草野1-15-9-1F ☎ 070-8439-1607

常陸の地酒 森島酒造株式会社

日立市川尻町1-17-7
TEL 0294-43-5334
<https://www.morishima-sake.jp/>

地域密着・地元のニュースをお届けします!

ケーブルテレビ JWAY

ジェイウェイ

0120-816-454
日立市幸町 1-19-1
営業時間 9:00 ~ 18:00
<https://jway.jp/>

市のシンボル



市章

「日立」の「日」の字は、円で型取り、「立」を極めて巧みな花に図案化し、「日立」の2文字を現わしています。



市の鳥 ウミウ

太平洋から立ち昇る大きな太陽を全身に浴びて、輝いている市の鳥「ウミウ」の姿をデザイン化しました。



市の木 ケヤキ

日立市民によるあたたかく、力強い腕の輪によって、市の木を永遠に保存しようとする想いと、日立という文字を象徴的に融合してデザイン化しました。



市の花 さくら

ひたちの「ひ」の文字が5枚の花びらを構成するデザイン。市民が手と手をつなぎあい、市の花として大切に守り育てていくことを表現しています。



市のさかな さくらダコ

大きくて元気な「さくらダコ」をイメージしてデザイン化しました。



イメージマーク

日の立ち昇るところ領内一と言われた日の光の輝き、市の花さくらや太平洋に開けた豊かな大地に恵まれ、創造、触れあい、ゆとり、潤いに満ちて飛翔する市民の喜びをイメージしてデザイン化しました。